

平成29年（2017年）3月24日

10年連続 京都府住宅販売No.1<sup>(※1)</sup>ハウスメーカー“エルハウジング”
**何もない空き地や宅地造成地にバーチャルな街および家を表現  
 今話題のVRシステムを3/24より導入！**

～購入前に住む街と家をバーチャルで確認し顧客の満足度の向上を図ります～

株式会社エルハウジング（本社：京都市右京区 代表取締役 村井 孝彦）は、3月24日（金）にVR（バーチャルリアリティ）システム＝3D住宅プレゼンシステム「ALTA（アルタ）」を導入します。購入前に住む街と家をバーチャルで確認することにより、購入促進を図るとともに思い違いによるミスマッチを防止します。

## &lt;VRシステム導入による3つの効果&gt;

**その①宅地造成中の更地の状態でも街をイメージすることができます。**

ALTAで作成した個々の家のデータを集約することによって、360度3Dで閲覧できる分譲地を作成します。建設前にはわかりづらい隣家との距離感や、窓の配置関係なども事前に把握することができ、空間イメージが伝わることによって想像と現実のギャップを埋めることができます。

**その②日当たりのシュミレーションが可能です。**

季節毎に移り変わる1日の日当たりの変化をアニメーションで表現します。窓からの光の入り方や、夜はどのような見え方になるかなど、平面図だけでは伝わらない部分もカバーします。

**その③作成したプランを携帯端末で閲覧できます。**

作成した3Dプランは、パノラマデータとしてiPhoneやiPadで閲覧する事ができます。パースや図面だけでは伝えきれない完成イメージを、いつでもカンタンに提案する事ができます。



## &lt;バーチャルリアリティ（VR）とは？&gt;

「VR」はVirtual Realityの略で、「事実上の、実質的な現実感」という意味です。単なる虚構ではなく、「ある程度現実と同等の効果を有する」ことを指して用いられます<sup>(※2)</sup>。「ALTA」では作成したプランをiPad・iPhoneで360度パノラマ閲覧することができます。モノクロの平面図や立面図では伝わらない完成イメージを、3Dでわかりやすく提案します。

お問い合わせ先

株式会社エルハウジング 広報担当：佐々木

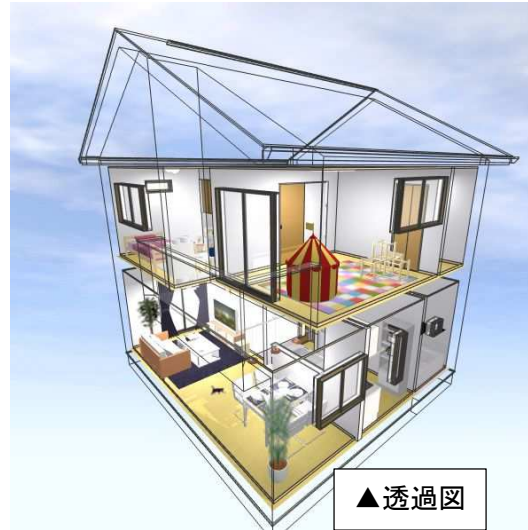
〒615-0073 京都市右京区山ノ内荒木町7番地58

TEL 075-882-5900(代) 携帯：090-4496-5673 / E-mail：[sasaki@sagano-g.jp](mailto:sasaki@sagano-g.jp)

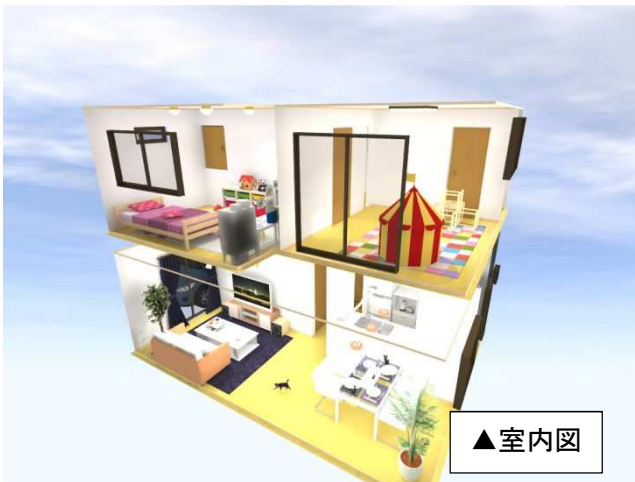
## バーチャルリアリティでのビジュアル例



高低差のある敷地や複数棟の街並みイメージも作成が可能です。



外壁の透過表示、プランの断面表示で、室内の様子をわかりやすく表示できます。



平面では伝わりづらい小屋裏、斜め天井や吹き抜け階段下の収納などもひと目でわかります。



日時や時間によって室内にどのように光が入るのかもシュミレーションすることができます。



実在するメーカーのキッチンや建具データを搭載。より現実に近いイメージが提案できます。



インテリア、家具、自動車など約 250 点の高品質な部品が新築提案プランを魅力的に彩ります。

(※1) 住宅産業研究所調べ「2015年度京都市着工棟数ビルダーランキング第1位」

(※2) MONOist HP より「VR=仮想現実感」は誤訳!? VR の定義、「製造業 VR」の現状と課題 < <http://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/1608/30/news037.html> >